

六月例会御案内
公益財団法人 協和協会
〔令和四年・通算第七一二回〕

○ 御案内 〔午後一時入館可〕

六月二十九日（水） 午後一時半～同三時半 参議院議員会館 地下一階 第109会議室

講題 七十歳以上の健康維持は、いかにあるべきか！

講師 大内耐義先生・東京大病院元副院長く虎の門病院前院長、専門「老年内科・循環器内科」
日本は、すでに超高齢社会であり、当団体の会員も高齢者が多く、したがって、月例会、部会・委員会にお出でになった折などに、それぞれ健康維持についての悩みを、打ち明け合っており、当団体はすでに二十年前、厚生事務次官を退職したばかりの多田宏氏を医療福祉部会長に迎え、多田部会長も、当時対立していた、医師・看護グループと福祉・介護グループの双方を部会に招き、両者を和解・融和させるなど、大きな成果を挙げられました。二代目の田中慶司元厚生省健康局長も熱心に務めて下さり、三代目は東大医学部の名物教授で知られた渥美和彦先生が取り組まれましたがやがて病を得られ、回復をお待ちしておりましたが、令和元年十二月三十一日逝去されました。その後、ご承知のように新型コロナウイルス、その変異種の流行のため、緊急事態宣言中やまん延防止等重点措置令中は、休会が続ききました。

しかし、岸田内閣は、国民の生活・経済に配慮され、そうした制約を解除されましたので、医療福祉部会を再開したいと考えており、まずは、このたび老年学ご専門の大内耐義先生に御講話いただくことにいたしました。貴重なお話がうかがえると思えます。奮っての御出席を！
（清原淳平記）

○ 出欠の返信欄は左頁をご覧下さい。

▽ 御出席者は、六月二十三日（木）までに、御投函下さい。

当日会費（昼食はなし） 会員は二千円、非会員の参加者は四千円

（公財） 協和協会 月例会云 <http://www.kyowakyokai.or.jp>

六月二十九日（水）の月例会云に

電話 03-3581-1192

FAX 03-3507-8587

出席 欠席（いずれかに○印を）

御芳名

貴方様のFAX
メール

当日連絡先 080-8836-6203 重田
080-9292-2620 高津
（メール不可・通話のみ）

▽ 「公益財団法人 協和協会」とは

昭和四十九年、岸信介元総理によって創立された財団。活動趣旨は、「政党・派閥・利害・打算の次元を超えて、真に国家的課題を研究調査し、特に重要課題は、政府宛要請書を作って、時の政府へ提出する」ことにある。昭和五十四年から本格活動に入り、月例講話会の他に、八つの部会と五く六の委員会を設置し、これまでに百三十八本の要請書を時の政府に提出している。

第二代会長は福田赳夫元総理、第三代会長は櫻内義雄元衆議院議長、第四代会長に塩川正十郎元財務大臣。第五代会長代行として江口一雄元衆議院議員。現在は、第六代会長代行として、岸信夫衆議院議員元外務副大臣。菅義偉内閣にて防衛大臣に就任され、岸田文雄内閣でも防衛大臣在任中。なお岸信夫防衛大臣就任中は、その全権限を代表理事兼執行理事の清原淳平に移譲されている。

▽ 事務局電話（03）3581・1192 代表理事兼執行理事・清原淳平、総務 重田、高津